

# て 於 に 名 の 園 稚 幼 民 國

性 繼 連 の と 校 學 民 國 (三)

## 三 物 橋 倉

幼稚園は必ずしも、國民學校の準備教育機關といふ譯のものではない。それは全生涯の基本教育を志すものであつて、従来の小學校が中等學校の準備機關でもあるかのやうになつた風の誤りは、こゝでも警しめなければならぬことである。しかし、就學前の教育を就學後の教育との當然の、いふよりも寧ろ自然の、いふべき連続性は、充分顧慮せらるべきである。進んで發揮せらるべきでもある。

その連続性は、ざれ／＼の線に沿ふていふよりも、教育効果の全面性に於て、先づいはなければならない。つまり、よき幼稚園教育は、よき國民學校入學兒童をつくるのである。しかも、この綜合的連続ともいふべきことの中に、特に取り立て、見て、二つの方面が注目せられ得る。その一つは、國民學校の國民錬成への大要旨に對して、全く同一方向への幼兒の性情の指向である。これは、國民學校への爲といふよりも、苟も日本教育たるものの一貫の連続性であつて、特に擧ぐるまでもないことでもあるが、國民幼稚園から國民學校へもたらす一大内容でもなければならぬ。次に、その二として注目せられる點は、新國民學校に於ける教育方法、わけても低學年の教育方法に對する兒童の適正なる態度を、幼稚園教育の正しい効果の連続である。この點に就ては、従来の小學校低學年と幼稚園との間に、必ずしも圓滑なる連續を實現し得ないことのおつたのに對して、大に期待を新たにし得るのである。それは一つに、國民學校の低學年の教育方法の面目一新によることであつて、従来の低學年に於ける急激なる學科別主義や、知能上の抽象主義は折角幼稚園で受けた生活主義修練と相容れないものがあつたのである。それに比し、これからは、幼稚園に於て、就學前幼兒らしい學習的(?)態度が正しく整へられてさへるれば、それがそのまゝに、就學後に要求せられ、訓練せらるべき學習態度を、背馳するところなく連續するのである。國民幼稚園の教育効果は、この喜ばしき意味に於て、就學前の教育としての一つの正しい位置を主張し得るのである。但し、この時に當つて、幼稚園の方に、従来の小學校低學年に似たるが如き舊態を持するものがあつたさしたら、また何をか言はんやである。